

創価学会員も次々署名

東京 信濃町駅前で宣伝

「私、地方から来た創価学会員なんですけど、署名してもいいかしら」。創価学会本部に近いJR信濃町駅前（東京都新宿区）で7月31日、戦争法案廃案の宣伝・署名行動を行ったところ、通りかかった「創価学会員」と名乗る女性らが次々と署名に応じました。

行動したのは新日本婦人の会東京都本部のメンバー。法案反対を示す赤い衣装を身に着け、約40人がリレート

クをしながら呼びかけました。

油原通江（ゆはら・ゆきえ）事務局長が中年女性に署名を訴えると、女性は冒頭のよう話して署名し、同行の女性も応じました。女性は「学会のなかでも（反対が）広がっていると思う」と話しました。

油原さんが「平和を守るためにいっしょに頑張りましたよ」と手を差し出すと、2人

とも握手に応じました。

また別の女性は「学会員なんだけど、これ（戦争法案）は嫌なの」と話し、「写真とってもいい？ フェイスブックに載せたいんだけど」と、宣伝の様子を撮影しました。

油原さんは「各地から創価学会本部に來られた方々だと思いますが、予想以上の反応でした。創価学会のなかにも法案反対の声があることが分かりました。各地で自民、公明の支持者にも署名のお願いや、廃案への共同を申し入れていきたい」と語っています。